腎臓移植（献腎）登録について



1. 担当医に相談

担当医（透析医）相談し、献腎移植を希望して新規登録のため腎臓移植施設の受診予約をする。

2. 受診予約（要予約）

大分大学医学部附属病院　腎臓外科泌尿器科外来　移植外来受診日　木・金
（予約窓口）総合患者支援センター　月～金(祝祭日除く)
TEL：097-586-6360　FAX:097-586-6358（FAX は診察希望日の前日正午までに送信）

『腎臓移植希望者登録用紙』は、受診時に大分大学医学部附属病院　腎臓外科・泌尿器科 外来で受け取る。『腎臓移植希望者基本データ記入用紙(PDF)』は、公益財団法人 大分県臓器移植医療協会 ホームページ 腎臓移植（https://oita-zouki.or.jp/）よりダウンロード。必要項目を担当医に記入してもらう。

＊　直近の血液データ(採血日記載／感染症含む)のコピーを持参する。
＊　移植担当医の診察を受けるまで腎臓移植登録は不可（登録料の事前入金は返金できない）

3. 受診（大分大学医学部附属病院　腎臓外科泌尿器科外来）

【持参するもの】
□紹介状　□腎臓移植希望者登録用紙　□腎臓移植希望者基本データ記入用紙
□健康保険証　□長期特定疾病療養受給者証　□障害者手帳
□直近の血液データ(採血日記載・感染症含む)のコピー　□診察料　□おくすり手帳など
＊移植適応と診断された場合は、組織適合性(HLA 検査)検査の採血日を予約（大分県立病院）。

4. 組織適合性（HLA 検査）採血検査(大分県立病院)

予約した日時に受診し採血する。(所要時間　30 分程度)
組織適合性（HLA 検査）検査　　採血検査料　自己負担（実費）：38,500 円
（検査に使用する試薬高騰のため、2023 年 4 月より値上げしています）
＊大分県臓器移植医療協会より新規登録者に対して組織適合性検査（HLA 検査）費用の一部が補助されます。必要書類を添付して申請してください。

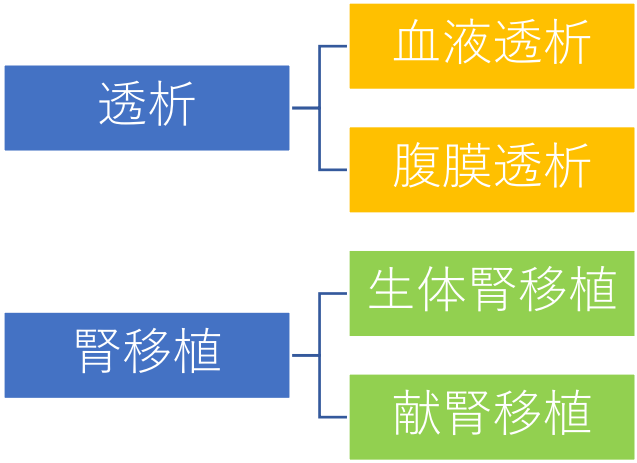
5.　登録完了

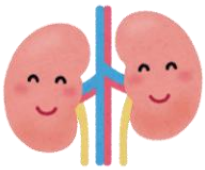
新規登録料の払込の確認と、移植施設による移植希望者登録システム入力後に登録完了。日本臓器移植ネットワークから「登録完了通知書・領収書」が届きます。更新は年 1 回移植病院の受診が必須ですので、更新通知書到着後に移植病院の予約・受診をお願いします。

＊新規登録料は 30,000 円。登録更新は年 1 回の移植施設の受診が必須。登録更新料 5,000 円。住民税の非課税世帯は登録料などが免除になりますが、払込の前に事前に申請が必要です。詳細は取り寄せた「腎臓移植希者登録用紙」をご確認ください。

腎臓移植（献腎）をお考えの方へ

末期腎不全の治療法（腎代替療法）は透析と腎移植の 2 つがあります。







献腎移植とは

亡くなった方からの善意による腎臓のご提供は献腎といわれ、献腎を移植することを献腎移植（死体腎移植）といいます。一つの献腎を移植して機能させることにより腎機能を回復させます。
献腎移植を希望される方は日本臓器移植ネットワークに登録して待機します。

（登録については裏面に）

献腎移植の現状

2026 年９月末現在、17,362 人の方が献腎移植（死体腎移植）を希望し登録しているのに対して、2025 年の献腎による腎臓移植件数は 263 件（2025/1/1~2025/12/31）でした。
日本は諸外国に比べ臓器提供数が少なく移植待機期間は約 15 年と長いことが短所のひとつですが、献腎移植術後の 5 年生存率は 91.2%で透析の 5 年生存率よりもはるかに高いことが特長です。
まずは、腎臓移植登録の適応なのか移植病院を受診して相談してみましょう。

＊献腎移植の登録・臓器提供についてのご相談はこちら

（公財）大分県臓器移植医療協会
☎　０９７－５４９－４３１０